

くずまき 議会だより



新教育長に同意

2p

茶屋場田子線の整備は ～5議員が一般質問～

4p

環境にやさしい町づくりを学ぶ ～県外行政視察～

9p

災害復旧工事の状況を確認 ～所管事務調査～

10p

笑顔のつどい 28



表紙

「茶屋場えんぶり保存会」
の皆さん
(関連12P)

新教育長に同意



新教育長の吉田信一さん

●教育長任命の同意
新教育長に吉田信一さん（56歳）を任命することと同意しました。任期は32年12月31日までです。吉田さんは10年から13年までの4年間、町生涯学習課に県教委派遣として在籍していました。

人事案件

12月定例会議は、12月1日から8日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、29年度補正予算など12件が提出され、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。
一般質問では、5人の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億5748万円	61億7405万円
農業集落排水事業	904万円	2億1330万円
病院事業 (収益的支出)	870万円	13億3414万円
水道事業 (収益的支出)	40万円	1億9797万円

補正予算

一般会計に2億5748万円追加し、総額を61億7405万円としました。支出では、公共施設

《主な予算の使いみち》

■ 公共施設等整備基金の積立	1億3400万円
(累計残高32億2004万円)	
■ 障害福祉サービス費、療養介護医療費等	1561万円
■ 葛巻小学校大規模改修工事設計業務	1200万円
■ 町内事業者向け雇用促進事業補助金	1000万円
■ 道路施設定期点検業務	700万円

等整備基金に1億3400万円の積立などです。各会計の補正額と主な予算の使いみちは、左の表のとおりです。

条例

●農業委員会の選挙による委員の定数条例の改正
農業委員を現在の公選制から町長の任命制とし、定数を16人から9人に減員。

新たに農業委員会委員の農地利用最適化推進委員を11人設置。

●職員育児休業等条例の改正
非常勤職員の育児休業取得期間を子どもが2歳になるまで延長。

●職員給与条例等の改正
国に準じて、一般職の給料月額を平均0.2%引き上げ。
一般職の勤勉手当と、議会議員、常勤特別職の期末手当を、それぞれ0.1月分引き上げ。



点検予定の上下川トンネル

財産取得

●通院バスの更新

◇種類 マイクロバス

29人乗り

◇契約額 764万円

◇契約相手 岩手トヨタ

自動車(株)【盛岡市】

【主な質疑】

道路施設
定期点検
建設
水道

問 道路施設定期点検業務の内容は。

答 上外川と袖山の2か

所のトンネルを点検し、必要に応じて応急処置を行う。

葛巻小学校
大規模改修
教育
委員会

問 葛巻小大規模改修工事設計業務の内容は。

答 老朽化している水道の配管、暖房設備、壁、屋根、内装、高所照明器具、トイレの改修工事の設計を1年前倒しで行う。改修工事は来年度予定している。

議員の判断〈議決結果〉



○議員の判断で決定した議案（今回は賛否が分かれた議案はありませんでした）

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
議案34号	29年度葛巻町一般会計補正予算（第4号）…2億5748万円を追加して予算額61億7405万円に	可決	全員賛成
議案35号	29年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）…1600万円を療養諸費及び予備費から高額療養費に組み替え	可決	全員賛成
議案36号	29年度葛巻町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）…904万円を追加して予算額2億1330万円に	可決	全員賛成
議案37号	葛巻町農業委員会の選挙による委員の定数条例の改正…農業委員を公選制から町長の任命制にし、新たに農地利用最適化推進委員を設置など	可決	全員賛成
議案38号	職員の育児休業等に関する条例の改正…非常勤職員の育児休業取得期間の改正など	可決	全員賛成
議案39号	財産の取得の議決…通院バスの更新 契約相手：岩手トヨタ自動車(株)【盛岡市】 契約金額：764万円	可決	全員賛成
議案40号	29年度葛巻町一般会計補正予算（第5号）…1504万円を予備費から給与費等に組み替え	可決	全員賛成
議案41号	29年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）…64万円を総務費から予備費に組み替え	可決	全員賛成
議案42号	29年度葛巻町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）…収益的支出に870万円を追加して予算額13億3414万円に	可決	全員賛成
議案43号	29年度葛巻町水道事業会計補正予算（第2号）…収益的支出に40万円を追加して予算額1億9797万円に	可決	全員賛成
議案44号	一般職の職員の給与に関する条例等の改正…一般職の職員の給与等、議会議員及び常勤特別職の期末手当の引き上げなど	可決	全員賛成
同意2号	新教育長の同意…吉田信一さんを任命することに同意	同意	全員賛成

～ 今ここが聞きたい ～

12月5日に、5議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 茶屋場田子線の開通時期は

答 30年度開通に向け進める

進捗と完成見通し

議員 町道茶屋場田子線、葛巻浦子内線の工事進捗状況と完成見通しを伺う。

町長 現在、茶屋場田子線は茶屋場交差点からJ A葛巻支所裏まで盛土、擁壁工事を進めている。今年度中には葛巻小学校校庭進入路付近まで工事が進む見込み。事業費ベースで約70割の予定。30年度中の全線開通に向けて工事を進めている。

葛巻浦子内線は、馬淵川と外川川の合流点の上流側に新橋を架設し、浦子内方向へ新橋を含めた約450mの区間の道路の拡幅整備を行う。現在、町では橋の詳細設計に取り組み、河川管理者から架設計画の承認を得た上で、順次用地買収、物件移転補償を進め、工事の完了を32年度と見込んでいます。

大橋の「木橋」整備

議員 「大橋」架け替え工事に、町産材を活用した「木橋」で整備できないか。

町長 大橋は、大型車両が通ることから、一定の強度の構造が必要。木橋はコンクリート橋と比べ、強度確保のため橋脚の増設が必要となるなどの技術的課題がある。

現在、町産の集成材を活用した「木橋」整備について、先進架設事例などの情報収集を行っているが、町のイメージアップや林業振興の視点からも十分に検討を重ね、「木橋」の整備実現に努力したい。

新町旧遠藤邸の整備

議員 新町地区の旧遠藤邸の利活用状況と課題、今後の家屋や周辺の整備計画は。

町長 旧遠藤邸の今年



旧遠藤邸で開催された「くずまきクラフト市」。利活用により賑わい創出が期待されます。

度の利活用は、「町家利用規定」を作り、広く町民に呼びかけ「ヨシ・ナカガワ」氏の版画展示会や女性有志による「くずまきクラフト市」を開催。利活用に当たっての課題は、来

図りたい。

今年度「くずまき型DMO」の「まちなか検討部会」で本施設と周辺を含めた構想の策定と具体的な活動の検討を重ねている。

町では、こうした取り組みや検討結果等を踏まえ、女性や若者にとって町中心部が「歩きまわりたくなる魅力的なエリア」と感じてもらえるような施策の具体化を図りたい。



やまぎし **山岸はる美** 議員

問

災害復旧工事の進捗状況は

答

町は約80パーセント、県は約70パーセント発注

町・県の災害復旧工事

議員 昨年8月30日の大雨災害による町・県が所管する復旧工事の進捗状況は。

町長 町が所管する災害復旧工事の公共土木施設は道路、河川、橋りょうで合わせて46件であり、現時点で32件、70パーセントが発注済み、うち15件、33パーセントが完了済みである。農業用施設では、道路、橋りょう、**頭首工**（※）、水路で合わせて7件の工事で、現時点で6件、88パーセントが発注済み、うち4件、50パーセントが完了済みである。林道では5路線9件で、全て発注済みであり、うち1件が完了し、残る8件も年内完成を見込んでいる。県が所管する災害復旧工事は、道路、河川で合わせて20件で、道路で67パーセント、河川で71パーセントが発注済みと確認している。今後

も円滑な工事発注と早期発注、復旧を県に要請していく。

（※）頭首工
河川などから農業用水を用水路へ引き入れるための施設。

保育園舎の改築

議員 町内には4つの保育園があるが、葛巻保育園以外は川沿いに位置しており、災害時には危険な場所である。園舎が老

朽化していることから、改築移転の具体的な考えは。

町長 葛巻保育園を除く3園が建築から40年以上経過しており、老朽化が著しく、大規模補修、設備更新などで延命化に努めてきた。一方で出生数は年々減少しており、4園の合計定員数155人に対し125人、80パーセントの入所率であり、今後同程度で推移していくもの

と見込まれる。

園舎整備は老朽化の状況だけでなく、今後の園児数の推移、就学前教育の充実、保小連携の観点を踏まえて今後、整備検討委員会を設置し、整備計画の策定を進めたい。

中学校部活動の支援

議員 中学校生徒数が減少しているが、クラブ活動充実の支援策は。

町長 生徒数の減少に伴い、少人数での活動を余儀なくされる中、町教育委員会では中学校のクラブ活動の範囲内で希望する生徒の送迎を実施しているが、他校でのクラブ活動参加を希望する生徒はいなかった。今後も生徒が意欲的にクラブ活動に取り組めるよう教育関係、スポーツ関係団体などと連携しながら支援に努める。



五日市保育園の夏祭り。園舎は築48年経過し老朽化しています。



たつやなぎ 辰柳 けいいち 議員

問 総合運動公園の管理運営は

答 関係者と利便性向上に努める

運動公園の管理運営

議員 総合運動公園の人工芝化、野球場の改修で町民や町外の利用者が増加している。今後の管理運営について伺う。

町長 昨年度「希望郷いわて国体」の開催、総合運動公園の改修事業などにより、施設利用者数は25年度と比較し、約1.7倍の増加となった。

町ではスポーツを通じた交流人口の拡大を地域の活性化につなげることを目的に「スポーツツーリズム」の推進に積極的に取り組むこととしており現在、ゲートボール場とテニスコートの改修工事を行うなどスポーツ合宿等の受け入れ拠点としての充実強化に努めている。今年度は新たに「スポーツツーリズム奨励事業費補助金」を創設し、スポーツ合宿等に伴う宿

泊助成や、町外団体参加を含むスポーツ大会助成を行い、さらなる推進と誘致に努めた結果、昨年度同期と比較し100人ほどの増加となった。

そうした中、施設利用者、合宿宿泊者からは洗濯機の数が少ない、多目的グラウンドのそばに更衣室やシャワーなどの設置を望む声が寄せられている。利用者が快適かつ安価に利用できる施設環境を整えなければ、継続的な利用が見込めないものであり、体育施設の指定管理者、宿泊先となるグリーンテージ、プラトーなどと協議し、施設の利便性向上へ向けた検討を進める。

野球場の有効利用

議員 野球場にはナイター照明も設置されており、今後の有効利用について伺う。



野球場で開催されたゲートボール大会。さらなる施設の活用が望まれます。

町長 「希望郷いわて国体軟式野球競技」の受け入れに合わせ、26年から3年かけて施設の改修を行い国体も盛会のうちに開催できた。そうした中、今年度の利用実績は野球競技の大会、公式試合、スポーツ少年団・中学校・高校の練習試合、葛高野球部の部活動など合わせて64件ほどの利用で、前年度とほぼ同じとなっているが、過去5年間の推移

は減少傾向となっている。今後の野球場の有効利用は、施設の主たる利用者である野球・ソフトボール競技関係団体と連携を図りながら各種大会やスポーツ合宿の誘致を進めるほか、グラウンドゴルフやターゲットボードゴルフなどニュースポーツなど他種目での活用も検討し、町民が気軽に利用できるような環境づくりを進める。



やまざき **山崎** くにひろ **邦廣** 議員

問

防災計画の対応力向上策は

答

体制充実し現実に即した訓練で

災害対応力の向上

議員 防災計画を改定した後の災害対応力向上の現状を伺う。

町長 町地域防災計画の改定は、県地域防災計画の改定に合わせ見直すもので、現在、計画の見直し作業を進めており、できるだけ早い時期に改定後の計画を示したい。

災害対応能力向上の取り組みは、18年の豪雨災害を契機に、情報通信基盤施設整備により、情報伝達能力の向上を図ったほか、消防団の資機材等の充実に努めてきた。

今年度は、新たに、防災対策専門員を配置し、自主防災組織の育成・強化に取り組んでおり、住民の防災に対する意識の高揚を図り「自らの命は、自らが守る」ことができないよう努めている。

7月からは、超高密度

気象観測・情報提供サービス「ポテカ」を町内7カ所で運用しており、住民の皆さんもスマートフォンやパソコンなどで、リアルタイムに正確な気象情報を得ることができ

る環境を構築している。さらに、盛岡広域8市町で構成する盛岡広域首长懇談会で、域内で大規模災害が発生した際、相互支援・相互受援が確立

できる体制を構築するための検討をはじめている。こうした取り組みを着実に積み重ねていくことで、町の災害対応能力の向上と、安全安心なまちづくりを努めたい。

災害現地での実効性

議員 今後の実効性ある取り組みの考えを伺う。

町長 町では、これまで総合防災訓練などの各種訓練を通じ、災害時対応の確認を進めるとともに、

訓練をより現状に近い形で行うよう努めている。9月に行った総合防災訓練では、地震災害から土砂災害を想定した訓練

に変更したほか、自主防災組織を対象に避難所開設の一部を取り入れた。このほか、課長級職員

のみの参集対象を、実災害を想定し、防災担当課の全職員を招集し、災害対策本部の設置・運営のほか、現地会場に職員を

派遣し、避難所設置、炊出しなどのサポート、情報収集などの役割を確認する現地訓練を行った。

このように、地域住民や自主防災組織、消防団、関係機関との連携・強化と、防災訓練へ町職員の参加・拡充を進め、総合的な対応力の強化に取り組む、有事において実効性ある対応が発揮できるよう努めていく考えだ。



旧小田小学校体育館で行われた総合防災訓練。有事に備え、日頃の訓練が重要です。



あねたい はるじ
姉帯 春治 議員

問 役場庁舎建設の事業予定は

答 年度内に基本的な方向性

庁舎建設の検討状況

議員 新役場庁舎建設に係る現時点での検討状況と、今後の作業スケジュールを伺う。

町長 現在の役場庁舎は建設から42年が経過し、施設・設備の老朽化のほか、耐震性能対策も必要な施設であることから、新庁舎の整備に向けた検討を進めている。

現在の検討状況は、昨年度に庁舎建て替えに関する基礎調査を実施しており、今年度は職員による新庁舎建設庁内検討委員会を立ち上げ、現庁舎の課題と解決に向けた新庁舎建設の基本的な整備の方向性について検討を進めている。

今後のスケジュールは、年度内に施設整備における基本的な方向性を取りまとめ、町民の意見も伺い、その内容を踏まえた

から順次、基本設計、実施設計を行い施設整備に係る詳細を詰めた上で、建設工事に移行したいと考えている。

新庁舎の複合化

議員 新庁舎を複合化する考えはあるか。複合化する場合はどのような機能を持たせるのか。

町長 新庁舎建設に当たっては魅力的な空間を創出し、町民はもとより町外の方からも興味を持って立ち寄っていただけるような施設とし、新たな相互交流が生まれる場所にしたい。主に行政・交流・防災安全・商業の機能を複合させることで検討を進めている。

新庁舎の構造

議員 新庁舎の構造はどのようなものになるのか。町産材活用の考えは。

町長 現在、構造を含め

新庁舎建設の基本的な整備の方向性について検討を進めている段階であるが、最近、整備された県内の庁舎建設を参考にすると、住田町は木造、八幡平市と遠野市が鉄筋コンクリート造、紫波町は木造一部鉄筋コンクリート造となっている。

町ではこれまでも公共施設には、できるだけ町産の集材材を活用する取り組みを進めてきているが、他団体における建設事例などを参考に、施設の機能や規模、建設コスト、維持管理コスト、防災上の観点など総合的に精査した上で判断したい。



築42年経過している役場庁舎。新庁舎は町の中核機能を発揮することが期待されます。

ゆす
はら
ちよう
梶原町の取り組みを学ぶ

CLT工法、木橋などを視察

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、10月17日から19日、鈴木町長も同行し、高知県森林組合連合会会館、梶原町を視察。豊かな森林資源を活用したさまざまな取り組みを視察し、今後の町づくりの参考のため研修しました。

**CLTを使った
県森連会館**

高知県森林組合連合会会館は県庁所在地である高知市に隣接した南国市に建設されています。同会館は県の**CLT**（※）プロジェクト第1号であり、建築面積759.54平方メートル、木造軸組構法、2階建ての事務所です。強い構造材であることや工期短縮、環境貢献、森林資源の活用等の観点からCLT部材を使用しており、また、全ての建



CLT部材を活用した高知県森連会館

築資材に県産木材を活用した施設になっています。設計時、CLT部材が建築基準法で認められておらず、認可を受けるべく国、県、大学教授、CLT協会、工業会社等に指導を仰ぎました。建設費は約4億円です。

（※）CLT
板の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着した厚型パネル。

**環境モデル都市
梶原町の取り組み**

梶原町は高知市から車で90分の高知県の西部に位置する面積236.5平方キロメートル、人口3608人、高齢化率42.3割の町です。「環境モデル都市」を目指し自然エネルギーによる町づくりに取り組んでいます。23年に小水力発電所が完成し、有効落差約6メートルを得て最大出力53キロワットを発電。発電した電気を日中は小中一貫校に、夜間は町中心部の街路灯82基に供給しています。



梶原川に架かる木製の車道橋「梶原橋」

29年3月に**ジビエカー**（※）を購入し、ジビエ新メニューを作成、加工品製造販売、人材育成などに取り組んでいます。また梶原町は森林資源を活用した木の里づくり運動を展開しており、公共事業への木材使用の一貫として木橋が3橋あり、地域のシンボルとなっています。

（※）**ジビエカー**
イノシシやシカなどを捕獲後に適切な設備のもと解体できる車。現地で素早い処理ができるため、より良質な食肉利用が可能となります。

災害復旧工事 進捗状況を確認

「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は12月14日、災害復旧工事などの調査のため、町内を視察しました。

視察後は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（北村安所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。県の工事、道路整備事業などについて意見を交わしました。

町の所管工事

午前は町所管の工事を視察。茶屋場田子線は今年度中に葛巻小学校校庭進入路付近までの改良工事を発注予定であることを確認し、葛巻浦子内線の道路拡幅と大橋架け替え計画について現地で担当課から説明がありました。

災害復旧工事では、完成した今待地区の河川工事を確認。そのほか完成間近の小苗代橋長寿令化

修繕工事と泉田地区から小苗代地区までの江刈地区水道の工事状況を確認しました。

県の所管工事

午後は県が所管している災害復旧工事を視察。完成済みの江刈本木地区、元町地区、完成間近の岩瀬張地区、工事中の江刈川地区を確認しました。江刈川地区は30年2月完成を目指しています。

県との情報交換

調査終了後、副町長も出席して県との情報交換会を開催しました。県からは現在工事中の国道281号大坊峠は32年度、又ナヤ沢砂防工事は31年度、市部内の沢砂防工事は30年度にそれぞれ完成予定との説明がありました。

県の災害復旧工事は、入札不調により未着手の場所がありますが、3月に契約し、来年度中の完成を目指して進めています。議会からは町内で整備が必要と思われる場所などの情報提供を行いました。今後も県と町が情報を共有しながら、連携して進めていくことを確認しました。



災害復旧した岩瀬張地区。元町川は急傾斜のため流れが速いと説明がありました。

皆さんの声をお聴かせください

議会報告会

ふるさと懇談会を開催中

議会では町民の皆さんの声を市政に活かすために12月2日から「議会報告会ふるさと懇談会」を開催し、声や思いをお伺いしています。今年度は希望のあった自治会に出

向いて行くほか、小・中・高校生とも行います。開催日程等は下の表のとおりです。開催地区には案内チラシを配布しますので、お気軽にご参加ください。



12月2日に車門ふるさと会館で開催。活発な意見交換が行われました。

開催期日	対象	開催場所	開始時間
12月2日(土)	車門自治会	車門ふるさと会館	午後7時
12月16日(土)	元木自治会	元木生活改善センター	午前9時
1月12日(金)	葛巻高校生徒	葛巻高校	午後4時
1月13日(土)	新町自治会	新町自治会館	午後5時
1月26日(金)	田代自治会	田代コミュニティセンター	午後7時
2月2日(金)	町内中学校生徒	総合センター	午後3時30分
2月4日(日)	寺田自治会	寺田公民館	午前10時
	江刈自治会	江刈農村センター	午後7時
2月5日(月)	町内小学校児童	(未定)	午後2時30分(予定)
2月18日(日)	吉ヶ沢自治会	ゆきわりそう	午後1時

済

済



12月16日には元木生活改善センターで開催。

くずまきの笑顔

郷土芸能発表会での茶屋場えんぶり保存会の皆さん



茶屋場えんぶり保存会は、会員20人で構成しています。12月10日には郷土芸能発表会で、演舞を披露しました。このほか、旧暦の小正月に町内を回り門打ちをしています。

えんぶりは、来る秋の豊作を祈願して踊る「予祝踊」で、かぶっている「えぼし」は馬の形を表し、手に持っている道具は田を平にする「えんぶり」です。ここから名前が付けられたといわれています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月 13,000円 (森林業の展望を語る
情報交換会ほか)

11月 21,000円 (町勢功労者表彰式ほか)

12月 29,000円 (消防団防火懇談会ほか)

次の定例会議は**3月2日(金)**です。

編集後記

新春のお喜びを申し上げます。昨年度の町の大きな事業として、江刈小学校の改築(3月)、養護老人ホーム葛葉荘の改築(7月)、新葛巻病院の建設(9月)が整備開業となり、今後の貢献が期待されます。今年も来年、ワンさか良い事がありますようにお祈り致します。今年もどうぞよろしく申し上げます。

広報常任委員会
委員 大平 守